

「未来の人材採用・獲得セミナー」



ツールベルト世代の創出

～若手現場技術者の獲得チャンス到来か！？～



講演

山下 正太郎 氏

コクヨ株式会社

ワークスタイル研究所 所長

パネリスト

- ・コクヨ株式会社 山下 正太郎氏
 - ・燕市建設業協同組合 理事長 丸山 光博 氏
 - ・新潟県央工業高校同窓会 会長 松縄 嘉彦 氏
- ファシリテーター
- ・つばめいと 山後 春信氏

12月9日 (火)

18:00-19:30

開催概要

- ・日時 : 2025年12月9日 (火) 18:00～19:30
- ・場所 : 燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7F マルチメディアホール
(新潟県三条市須頃1丁目17番地)
- ・参加費 : 無料 定員 : 180名 (先着順)
- ・申込 : 右記二次元バーコードよりお申込みください
- ・主催 : 地域の人事部@燕
- ・協賛 : 燕市建設業協同組合・株式会社 福田組
- ・後援 : 新潟県央工業高校同窓会
- ・お問い合わせ : 地域の人事部@燕 (燕市宮町6番26号)



TEL : 0256-64-8850

info@miyacho-office.com

講演者プロフィール



山下 正太郎 氏

コクヨ株式会社 ワークスタイル研究所 所長

コクヨ株式会社にて、2011年、グローバルでの働き方とオフィス環境のメディア『WORKSIGHT』を創刊。同年、未来の働き方を考える研究機関「WORKSIGHT LAB.（現ワークスタイル研究所）」を設立。2019年より京都工芸繊維大学 特任准教授を兼任。2022年、オルタナティブな社会をリサーチ&デザインする「ヨコク研究所」を立ち上げる。

「ツールベルト世代」が問いかける労働観とは —— 学歴よりもリアルを選ぶ若者たち ——

※事務局抜粋

アメリカをはじめとする各地で、大学へは進学せずブルーカラーの仕事に就くという選択がZ世代の間で一つのトレンドとして広がりつつあります。工具を収めたベルトに象徴されるように、彼らは「ツールベルト世代（Toolbelt Generation）」とも呼ばれ、従来の進路観に対する再考の兆しとして注目を集めています。



全文はこちらから

✓ 人気の高まるブルーカラー

人手不足が深刻化するなかで、建設・輸送・設備・エネルギーなどの職種は AI や自動化の影響を受けにくく、自らの技能を武器にキャリアを築くことが可能だと考えられており、Z世代にとっては、早期に自立し、社会に実践的に貢献できるこうした道こそ、時代に合った働き方だと捉えられています。

✓ 学費高騰と学歴神話の崩壊

多くの若者が重い学生ローンを背負って社会に出ていくなかで、それを「将来への投資」としてではなく、「過剰なリスク」として捉えるZ世代が増えています。技能職には「目に見える形で人や社会に貢献できる」という特徴があります。建物を完成させる、設備を修理する、人々の生活を支える——そうした行為が仕事の実感と直結しており、Purpose（仕事の意義）を感じやすいという声が多く聞かれます。

✓ 「働きながら学ぶ」新しい教育モデル

これまで大学進学が唯一の正解とされてきたアメリカにおいて、職業訓練校や見習い制度が再評価され、Z世代の支持を集めるようになっていきます。実際、近年の統計では、アメリカ全体で職業訓練プログラムへの入学者数が前年比で大幅に増加しており、その中心にいるのがまさにこの世代の若者たちです。

✓ スキル重視に舵を切った企業

Tesla CEO イーロン・マスクは「大学で学ぶ内容はオンラインで無料で学べる」と述べ、学位よりも実践力を優先する姿勢を示しています。Apple CEO ティム・クック「米国における新規採用者の約半数は大卒ではない」と明かしており、大学教育と現場ニーズとのズレを指摘しています。

✓ ツールベルトが照らす、働き方のこれから

手で作り、目に見える形で社会とつながり、自分の力で暮らしていく、そんなリアルな労働の実感こそが、Z世代にとっての自由であり、誇りなのかもしれません。

ツールベルト世代とは、単なるブルーカラー志向の若者たちではありません。彼らは、企業のあり方や教育の構造を変え、そして誰もが自分の働き方を誇れる社会をつくるための、静かで力強い起点なのです。